

(様式3号)

学位論文の要旨

氏名 紙谷 恵子

〔題名〕 乳がん罹患した女性の妊孕性温存に関する意思決定支援の研究

〔要旨〕

1. 研究の目的

乳がん罹患した女性の妊孕性温存に関する意思決定の実態を調査するとともに、意思決定支援に用いるツールとしての意思決定ガイドを開発すること。

2. 研究の方法と結果

【第1段階】

乳がん診断後、妊孕性温存に関する意思決定を行った経験のある女性 41 名を対象に、意思決定の状況、意思決定後の後悔に関する質問紙調査を行った。挙児希望について、乳がん診断前に希望していた女性 20 名のうち、診断後にも希望した者は 12 名であり、実際に妊孕性温存を行った者は 2 名であった。挙児希望があった女性は希望がなかった女性と比較して妊孕性温存に関する情報への満足と意思決定への自信が有意に低く、意思決定後の後悔が大きかった。

【第2段階】

乳がん診断後に妊孕性温存に関する意思決定を行った経験のある女性 21 名を対象に、半構造化面接を行い、質的内容分析を行った。研究参加者は、妊孕性温存とがん治療とのはざまに葛藤し、挙児希望がない場合や子どもがいる場合においても困難な選択となっていた。妊孕性温存を行った参加者は、想像以上の苦痛に加え期待した妊娠が叶わず心理的に不安定になっていた。

【第3段階】

質問紙調査、面接調査から得られた当事者の意思決定ニーズと先行研究、ガイドラインをもとに意思決定ガイドの草案を作成し、臨床専門家と乳がん経験者に対して内容適切性の調査を行った。がん・生殖医療専門家からは、妊孕性に関する基本的な解説の必要性と妊孕性温存に対する過度な期待を防ぐ表現の必要性などについて回答があった。乳がん経験者からは意思決定のサポートとして期待できるとなどの回答を得た。以上の評価を受けて、記載内容を洗練させ意思決定ガイドを完成した。

3. 今後の展望

今後は、作成した意思決定ガイドを臨床における実際の意思決定に用いて効果検証を行うとともに、意思決定ガイドの有効活用に向けた支援プログラムを構築する予定である。

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 1715 号	氏 名	紙谷 恵子
論文審査担当者	主査教授 堤 雅恵		
	副査教授 齊田菜穂子		
	副査教授 伊東美佐江		
学位論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する.)			
乳がん罹患した女性の妊孕性温存に関する意思決定支援の研究			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する.)			
乳がん診断後に妊孕性温存しないと意思決定した女性の体験			
掲載雑誌名 日本看護科学学会誌 第43巻 602～611頁 2024年3月 (掲載・掲載予定)			
(論文審査の要旨)			
<p>申請された学位論文は3段階の研究で構成され、乳がん罹患した女性の妊孕性温存に関する意思決定支援の構築を目的とした調査を行った上で、意思決定ツール作成の国際基準にもとづいて意思決定ガイドを開発したものであった。</p>			
<p>【研究1】</p> <p>乳がん診断後に妊孕性温存に関する意思決定を行った経験のある女性41名を対象に、意思決定の状況や決定後の後悔に関する質問紙調査を行った結果、乳がん診断前に挙児を希望していた人のうち診断後も12名が希望し、実際に2名が妊孕性温存を行っていた。挙児希望があった人はなかった人と比較して妊孕性温存に関する情報への満足と意思決定への自信が有意に低く、意思決定後の後悔が大きかった。</p>			
<p>【研究2】</p> <p>乳がん診断後に妊孕性温存に関する意思決定を行った経験のある女性21名を対象に半構造化面接を行った結果、対象者は妊孕性温存とがん治療との間で葛藤し妊孕性温存に関する意思決定が極めて困難であったことや、妊孕性温存を行った人では、想像以上の苦痛に加え期待した妊娠が叶わず心理的に不安定になっていたことがわかった。</p>			
<p>【研究3】</p> <p>研究1および研究2の結果から得られた当事者の意思決定ニーズ、先行研究、ガイドラインを踏まえ、意思決定ツールの国際基準にもとづき、意思決定ガイドの草案を作成した。その後、内容適切性について臨床専門家と乳がん経験者を対象とした調査を行い、記載内容を洗練し、意思決定ガイドを完成させた。</p>			
<p>本研究は、多くの課題が存在する妊孕性温存に関し、当事者の視点や正確な情報にもとづいた意思決定を推進する取り組みである。科学的なプロセスを踏んで完成させた意思決定ガイドは、妊孕性温存に関わる当事者や医療従事者にとって有用なツールとなると考えられ、今後に予定されている臨床現場での効果検証と活用によって、社会への多大な貢献が期待できる。以上から、審査委員会は、申請された学位論文が博士(保健学)を授与するにふさわしいと認め、合格とする。</p>			
以上			

備考 審査の要旨は800字以内とすること。